

I C T街づくり推進会議 地域懇談会@富山県南砺市 議事要旨

1. 日時

平成28年3月4日（金） 11：20～12：35

2. 場所

富山県南砺市福野行政センター

3. 出席者

(1) I C T街づくり推進会議構成員

岡座長、村上構成員、牧野氏（石原構成員代理）

(2) 事業関係者

田中南砺市長、杉村同市民生部長、叶山同市健康課長、岡部となみ衛星通信テレビ株式会社代表取締役会長、河合同社代表取締役社長、宅見同社常務取締役、橋本日本デジタル配信株式会社取締役専務執行役員

(3) 総務省

森屋総務大臣政務官、星北陸総合通信局長

4. 議事

(1) 事業概要の説明

(2) デモンストレーション

(3) 意見交換

5. 議事概要

(1) 事業概要の説明

杉村南砺市民生部長及び宅見となみ衛星通信テレビ株式会社常務取締役より、資料1に基づき、システム概要や事業内容について説明が行われた。

(2) デモンストレーション

ケーブルテレビとマイナンバーカードを活用した母子健康情報サービスのデモンストレーションが行われた。

(3) 意見交換

主な発言は以下のとおり。

【村上構成員】

- 本プロジェクトは、前橋や米子の成功モデルの良いところを最大限に活用して、南砺市モデルを作り上げていることに大変感銘を受けた。ICT街づくり推進会議としては、まさにこのような横展開の取組の後押しを進めてきたので、構成員としても非常にうれしい。
- ICTを活用したプロジェクトでは、どうしてもICTが主役になり、ICTとしての素晴らしさや新規性が重視されがちだが、南砺市のアプローチは、住民にとっての価値の向上にフォーカスして、そのためにはどんなものでも使えるものを使っていくという姿勢が見え、感銘を受けた。
- このモデルは、ケーブルテレビというマスの媒体と、個人を認証し識別するマイナンバーカードの公的個人認証を組み合わせ、まさに2016年1月以降であるからこそ実現するものとなっている。ICT街づくりの世界の新しいフロンティアとして、これからの展開に期待したい。
- このアプローチは、マスの媒体で個人を認証して使用されるため、セキュリティやプライバシーへの配慮も必要。また、ユーザが母親である点に着目し、ユーザインターフェースなど利用の際のハードルを非常に低くしている点は素晴らしいと思う。他の地域に展開していく際には是非このような点を前面に出しながら進めて頂きたい。

【宅見となみ衛星通信テレビ株式会社常務取締役】

- 自治体と組んでマイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用していくことは、ケーブルテレビ事業者としても非常に有益。
- システム構築に関しては、母子健康情報のデータ化に関して、様々なメタデータが既に整理されていたので、非常に分かりやすかった。運用を開始してからまだ間もないので、これからどのような問題が出てくるかについては、しっかりと見極めていきたい。

【田中南砺市長】

- まさにICTは命をつなぐツールであると思っている。マイナンバーカードとケーブルテレビを連携させた南砺市モデルを構築し、人口減少対策や地方創生に向けて、しっかりと取り組んでいきたい。

【岡座長】

- ICT街づくりの成果の横展開が、具体的に目に見える形になったことは大変喜ばしい。市長のリーダーシップの下、市民参加型で取組が発展していくことを期待している。

- 南砺市のプロジェクトを是非成功させて頂き、できればさらにバージョンアップして頂きたいと思う。自立、持続性ということも大変重要であり、市民から積極的に良いと評価される形に持っていけるよう、さらなるご尽力をいただければと思う。
- 地元や地域のコミュニティに貢献するというのがケーブルテレビの理念であり、となみ衛星通信テレビには引き続きこのプロジェクトをご支援いただき、追加のサービス提供などについてもご検討いただきたいと思う。
- 我々はこのプロジェクトの応援団なので、このプロジェクトの横展開のために総務省がやるべきことがあれば遠慮なく仰っていただき、ICT街づくり推進会議としても応援できる場所は応援していきたいと思う。

【森屋総務大臣政務官】

- 限られた時間ではあったが、多くのアイデアやご示唆をいただき、大変有意義な時間となった。地域発の情報発信としてのケーブルテレビのあり方を見せていただいた。
- 「母子健康情報の提供」というのは着眼点が良い。若いお母さんたちは、こうしたICTツールが普及する上で有望なポテンシャル。事業のさらなる発展に向けては、利用者であるお父さんやお母さんたちに参加してもらうことが非常に重要。
- 各地域の方々が色々なアイデアを出していく中で横展開が進み、それが全国のスタンダードになっていくというのが、まさにこれからの可能性であると思う。地域を引っ張っていく推進役としての市長のリーダーシップにも期待したい。

以上